

平成24年12月市議会定例会

一 般 質 問 通 告 書

(通告者10名)

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 市税未済額の回収促進について  2 市民への行政対応について	8番 長南 良彦 (1)市税徴収向上に向けた抜本的改革を図るべき。 (2)特別徴収の比率向上を図るため、市内の企業に導入を依頼すべき。 (3)納税推進指導員の増員による体制強化を図るべき。 (4)納税貯蓄組合の思想普及と発展に努めるべき。 (5)軽自動車税未納者の徹底フォローと納税義務の周知徹底を図るべき。 (6)第四次名取市行財政改革大綱で計画されている滞納整理業務への民間活力の導入を積極的に行うべき。  (1)市民の行政要望に対して、報告、連絡、相談の徹底を図るべき。	市長 市長 市長 市長 市長 市長 市長	
2	1 いじめ問題対策について	2番 大友 康信 (1)いじめ問題は、早期発見、早期対応が大切である。また、人間関係のあるところには、いつでも発生し得るものである。常に潜伏しどこかにあるとの考え方の立場を取り、積極的に見つけ出すような、早期把握のための対策を強化すべき。 (2)把握した事案の対応と、防止策、抑制策等の取り組みについて伺う。 (3)教育現場は、負担がふえると十分な対応が期待できない。補助的職員拡充または支援・応援体制の工夫、事務的業務の簡素化・見直しが必要と考えるがどうか。	教育長  教育長 教育長	
3	1 子育て環境の充実について	6番 大沼 宗彦 (1)保育所の待機児童の解消を早急に図るべき。 (2)保育料は第2子以降を無料にするなど、保護者負担の軽減を進めるべき。 (3)児童数が急増している愛島と下増田小学校区に児童センターを早急に建設すべき。 (4)幼稚園、保育所、小中学校施設周辺的安全点検に基づく具体的対策を進めるべき。 (5)幼稚園、保育所、小中学校の建物表示板を大きく目立つものにすべき。 (6)幼稚園、保育所、小中学校周辺の横断歩道の照明灯を設置すべき。 (7)児童センター、放課後児童クラブの駐車場を簡易舗装すべき。	市長 市長 市長 市長 教育長 市長 市長 市長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	2 誰もが安心して利用できる介護制度について	(1)介護施設の待機者解消を進めるべき。 (2)高齢者の生活支援や健康づくりに市はさらに責任を果たすべき。 (3)在宅介護への支援策をさらに進めるべき。 (4)介護保険料の引き下げに努力すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
4	1 県道愛島・名取線延伸について  2 名取市内の土木工事再開について	13番 郷内 良治 (1)隣接市町及び国・県に対する働きかけの進捗状況について伺う。 (2)県道岩沼・蔵王線の拡幅工事に調査費がついたが、この状況をどう考えているのか。 (3)岩沼市と連携を図るべきと考えるがどうか。  (1)平成23年度からストップしている工事の再開の考えは。 (2)住民に対して期限を示し、説明すべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 在宅被災者等の避難所の課題について  2 市民にとっての安心・安全なまちづくりについて	12番 小野寺美穂 (1)東日本大震災後、仮設住宅や民間借り上げ住宅等ではなく、被災地内の自宅において復興を待つ市民、また、往来する市民に対しての次の災害に対する備えはどのように考えているのか。 (2)震災以前の指定避難所であった閑上公民館は、高台のない当該地域において貴重な建造物であるはずだが、津波避難ビルの重要性も指摘されている中、なぜ早々に解体したのか。 (3)現存の閑上小中学校は、指定避難所としての役割を十分には果たせる状況にないが、早急にソフト・ハード両面の対応を図るべき。  (1)放射能、ダイオキシン、電磁波等、目に見えない危険因子が市民の健康を脅かすという問題について、市はどのように対処する姿勢なのか。 (2)現在見直されようとしている、ごみの最終処分場建設予定地が公表されるに至った折、環境面からその影響について、どのように捉えていたか。 (3)現在居住している場所に将来にわたり住み続けたい、あるいは住み続けざるを得ない市民が、東北電力が市内に建設を予定している変電所など、そこに設置されようとしている施設に対し、その影響について不安を訴えたとき、市として取るべき対応姿勢の基本は何だと考えているのか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
6	<p>1 地球温暖化防止の取り組みについて</p> <p>2 小型家電リサイクル法について</p> <p>3 いじめ問題について</p>	<p style="text-align: center;">10番 菊地 忍</p> <p>(1)住宅用太陽光発電システムの普及促進のためにも補助金を交付するべきと考えるがどうか。 (2)リース方式によるLED式防犯灯を導入する自治体がふえている。本市も取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)小型家電に含まれるアルミニウム、貴金属、レアメタルなどの回収を進める小型家電リサイクル法が成立した。この制度では、回収業務の中心的な役割を担うのは市町村である。本市も取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(1)いじめ問題の早期発見のために月1回のアンケート調査を実施しているが、その結果をどのように捉え対応しているのか。 (2)いじめ問題防止に向けた体制づくりが重要である。いじめ問題学校支援委員会を設置するべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	
7	<p>1 指定避難所の非常電源について</p> <p>2 閑上港の復興について</p>	<p style="text-align: center;">7番 佐藤 正博</p> <p>(1)3・11後の指定避難所の非常電源の設置状況は。また、何カ所に設置済みか。 (2)未設置場所があれば、今後蓄電池付防災型太陽光発電システムを採用すべき。</p> <p>(1)震災後の漁船、漁業従事者（一次産業）が減っているが、今後どのような対策をしていくのか。 (2)仲買（二次産業）、加工業（三次産業）も減っているが、今後閑上以外の仲買、加工業者を積極的に誘致すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
8	<p>1 震災に伴う名取市の独自支援策について</p>	<p style="text-align: center;">1番 荒川 洋平</p> <p>(1)閑上の区画整理事業区域外となっている小塚原・牛野地区などへの名取市独自の支援策は、かさ上げ費用上限100万円の補助となっている。防災集団移転事業における利子補給制度や、3メートルのかさ上げが予定されている区画整理事業区域内から見ると、格差を感じてしまう。復興交付金による国の早期対応は期待できず、他自治体でも続々と独自支援策が創設されていることから、本市でも地元の要望に沿った支援策を検討すべき。</p>	<p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	<p>2 震災復興部の体制について</p> <p>3 名取市のSNS活用について</p>	<p>(1)定年退職予定者や期間限定の派遣職員が複数人いることから、平成25年度の震災復興部復興まちづくり課の体制も大きく変わるものと推測される。名取市の最大の課題である復興を、スピード感を持って進めていくためには、より体制を強化し、事業の継続性を図っていくことが必要と考える。平成25年度へ向けた体制をどのように考えているか伺う。</p> <p>(1)これまでも名取市はツイッターやフェイスブックのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）導入に対し、研究・検証をしてきたことと思うが、その見解を伺う。</p> <p>(2)市民に伝えるべき情報を拡散できる形で発信することができるツイッターやフェイスブックを活用し、情報発信すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
9	<p>1 介護者支援について</p> <p>2 相談業務について</p> <p>3 子育て環境の充実について</p>	<p style="text-align: center;">18番 星居 敬子</p> <p>(1)介護する側の現状を把握し、どのような問題点があると捉えているのか。（例：高齢者のみの世帯か、親子のみの世帯か、介護する方が妻なのか夫なのか嫁なのか子供なのか、男性か女性か等）</p> <p>(2)問題点があるならば、その解決をどう考えているのか。</p> <p>(3)男性の介護者が抱えるニーズを把握し、介護から生ずる問題（例：家事や介護のストレス、仕事との両立や離職、不安定な収入、地域社会との断絶等、また介護疲れによる虐待や自殺等）を解消するべく取り組むべきと考えるがどうか。</p> <p>(4)介護保険制度の改善の一環として、福祉用具購入費及び住宅改修費の補助について、償還払いだけでなく、受領委任払いも選択できるようにすべき。</p> <p>(1)公民館単位の身近な地域で、あらゆる困りごとを気軽に相談できる「福祉まるごと相談会」を民生委員を中心に定期的に行ってはどうか。</p> <p>(1)子ども・子育て関連3法の成立を受け、国に子ども・子育て会議が設置されることから、本市においても地方版子ども・子育て会議を設置することとなり、平成25年度から子育ての当事者等をメンバーとする合議制機関を新たに設置することが必要であると考えるがどうか。</p> <p>(2)平成27年度からの本格施行に向けて平成26年度半ばまでに事業計画を策定するためには、平成25年度予算にニーズ調査の経費を計上すべきである。</p> <p>(3)新制度移行に当たり、事業計画や条例策定などの準備が大がかりとなる。速やかに準備組織を立ち上げていくべきと考えるがどうか。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(4)利用者への情報提供や相談体制を整えていく必要があり、地域子育て支援拠点に子育てコーディネーターを配置して実施すべきであると考えているがどうか。	市 長	
10	1 里山エリアの環境整備について	9番 山田 司郎 (1)五社山自然散策路の現状をどう捉えているのか。より身近で安心して自然と触れ合える場になるよう再整備すべき。 (2)車でも利用しやすいように登山口付近に駐車スペースを確保すべき。 (3)五社山頂上付近に展望やぐらを設置して、西側の眺望を初め、特別地域全体を体感できるよう工夫すべき。 (4)教育資源として里山エリアのさらなる活用を図るべき。 (5)高館山から五社山を結ぶルートをつくるなど、里山エリアを一体的に整備すべき。	市 長 市 長 市 長 教育長 市 長	
	2 公共交通体系の見直しについて	(1)利用者が多いバス停や区間のダイヤの新旧対照表をつくり、より利用者の側に立ったマイクロな視点でダイヤ編成をすべき。 (2)公共交通会議で示されたダイヤ案では、名取が丘からの通勤・通学の便が減便になるおそれがある。本稼働に向けて見直すべき。 (3)愛島台から名取一中に通学する生徒の通学環境は改善されるのか。学校や保護者等の声を聞き、運行計画に反映させるべき。	市 長 市 長 市 長 教育長	